

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		社会教育施設整備事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73121	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	社会教育法第3条（公民館の設置）				
	小項目	1	生涯学習の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		平成22年度までは上柴公民館（キララ上柴）の整備を実施する。平成23年度からは花園公民館の整備。以降は岡部公民館、川本公民館と整備を進めていく。								
目的 ※何のために		公民館の整備を行い、施設の安全性の確保及び利用者の利便性の向上を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		平成22年度 上柴公民館（キララ上柴）整備、平成25年度 花園公民館整備、平成30年度 岡部公民館整備、令和5年度 川本公民館整備								
手段 ※どのように		建設に向けた地元協議会の開催、設計業務、既存施設の解体、造成工事、建設工事、外構・植栽工事等								
成果 ※何を求めるか		施設の安全性の確保と利用者の利便性の向上が図れる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	川本複合施設建設事業〔生涯学習スポーツ振興課〕	56,038,450
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	川本複合施設建設事業〔教育施設課〕	156,500,000
本事業の 主な業務		・ 川本公民館（仮称：川本複合施設）整備							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		川本公民館建設業務	川本公民館建設業務	川本公民館建設業務			
事業費	予算（現額）	271,398,000	1,827,195,000	240,898,000	330,000		
	決算額	57,645,300	212,538,450	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	51,000,000	183,000,000	206,900,000	0	
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	6,645,300	29,538,450	33,998,000	330,000		
人件費	従事職員数（人）	1.58	0.90	0.78	0.78		
	人件費相当試算※	12,263,826	7,082,601	6,393,182	6,393,182		
総事業費試算		69,909,126	219,621,051	247,291,182	6,723,182		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	公民館の整備数		目標値	件	0.00					
			実績値		0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			H 2 5 年度花園公民館整備、H 3 1 岡部公民館整備、R 5 川本公民館整備						
	実績値の算出式									
成果指標 1	岡部公民館整備進捗率		目標値	%	0.00					
			実績値		0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
成果指標 2	川本公民館整備進捗率		目標値	%	70.00					
			実績値		65.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			設計業務：3 / 1 0、建設工事：7 / 1 0						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和2年度から令和3年度において、川本複合施設（川本公民館・図書館・川本支所等）建設工事設計業務を実施し、令和4年度から建設工事（解体、建築、電気、機械設備等）を開始し、計画は順調に進んでいるところである。 なお、現在、建設中のため活動指標（公民館の整備数）は0としている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	建設工事は、令和4年4月から令和6年3月まで（2年間）を工期として順調に進んでいる状況である。 令和4年度成果指標として、設計業務完了分の30%に加え、建設工事実績分（建設工事70%×1/2年）の35%を加算し、実績値を65%とした。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	建設工事に係る業務は、教育施設課に執行委任し効率的に業務を進めている。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	社会教育施設整備事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73121
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>教育施設課（執行委任先）と連携・調整し、安全かつ円滑に建設工事を進めているところである。建設工事は、令和5年度末に完了する予定であり、次年度は建設工事に係る業務に加え、備品購入、事務所移転手続き、施設開館（令和6年度予定）に向けた取組などを進める。 なお、令和5年度に工事が完了した際には、本事務事業は目的達成のため終了となる見込である。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

